科目名称: 油	画・日本画演習I		
	本山二郎・北川由希恵・堀一浩		
区分	授業形態	単位数	
専門教育科	演習	8	

授業の目的・テーマ 洋の東西を問わず絵画芸術の伝統の中から、現代を表現するにふさわしい技法を実践的に学ぶ I。身近なモチーフを描きながら、様々な画材にも親しみ、描写力、構成力、発想力を養う。絵画として油画、日本画に共通するものや、空間の捉え方・媒材の違い・表現法の違いを学び、学生個々の持ち味に応じた作品作りの基礎を確立する。

授業の達成目標・到達目標

油画と日本画の専門描画用具から専攻する表現方向を選択し、それぞれに扱い方と表現方法を理解して基礎的な技術の 修得を目指す。また、自己の表現探求を試み、積極的な制作活動を行うことを目標とする。 授業は油画・日本画それぞれの演習室で行い、各課題探求としてのエスキース(下絵)の制作、使用画材の研究、表現 の探求の度合いを成果物(作品・資料)によって習熟度と到達度を確認する。

美術学科		ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目で様々な価値観を	標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通し 持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (2)		組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に 働的な実践力を身につけている。	
DP (3)		て基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これ 表現していくことができる。	0

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)			80	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容(内容・経験年数を記載)		
なし	《内容 1》	《経験年数1》	
	《内容2》	《経験年数2》	
	《内容 3》	《経験年数3》	
	《内容4》	《経験年数4》	
備考			

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業への参加	課題の内容を理解して 積極的に研究活動に取 り組む			課題への理解と興味が低く、意欲的な取り組みが不足
表現方法の熟達	画材の特性を理解し、 表現方法に見合った使 い方を工夫できる	画材の特性と適切な表 現方法を理解し、使い 方に工夫を試みる		画材への理解が低く、 表現に活用する方法へ の工夫の不足
研究する姿勢			自己の興味を制作に表 現できる方法を模索す る	
作品の完成度	高い表現技術で自己の	画材に習熟し表現技術 が秀で、自己の課題探 究が表現される	己の表現方法への試み	画材理解と自己の表現 探究が不足し、制作が 迷走する

授業の内容	子・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1週	外部機関と連携した課題解決型学習	「千代女」の人物像や俳句が作られた時代背 景、俳句についても調べておく	40分
第2週	油画選択者 : 石膏デッサン①/人物クロッキー(グループワーク) 日本画選択者:制作用スケッチ、取材の方法、下図制作	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第3週	油画選択者 : 石膏デッサン②/人物クロッキー (グループワーク) 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第4週	油画選択者 : カラーチャート、マチエール研究 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第5週	油画選択者 :自主課題制作実習(60号)① 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第6週	油画選択者 :美術モデル実習①/クロッキー (グループワーク) 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第7週	油画選択者 :美術モデル実習②/クロッキー(グループワーク) 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第8週	油画選択者 :美術モデル実習③/クロッキー(グループワーク) 日本画選択者:絹本着彩、模写	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第9週	油画選択者 :美術モデル実習④/クロッキー(グループワーク) 日本画選択者:絹本着彩、模写	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第10週	油画選択者 :静物デッサン実習/クロッキー (グループワーク) 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第11週	油画選択者 :静物モチーフ油彩実習(20号)①/クロッキー 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第12週	油画選択者 :静物モチーワ油彩実習(20号)②/クロッキー 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第13週	油画選択者 :静物モチーフ油彩実習(20号)③/クロッキー 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第14週	油画選択者 :自主課題制作実習(60号)②現美 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分
第15週	油画選択者 :自主課題制作実習(60号)③現美 日本画選択者:日本画制作実習(F50-100号)	制作のポイント理解し、画材の扱いに習熟す るよう練習を重ねる	300分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と 事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、制作段階での課題を整理し、次回までの制作プロセスを組み立ててまとめること。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。

全課題提出を原則とし、提出課題の良否およびオーディション審査[11月・1月]において評価する。 (80%程度)、課題への積極的な制作活動、問題解決への取り組みを評価として勘案する。(20%)

課題に対してのフィードバック

学習成果は『学習評価シート』によってフィードバックする。また、展覧会やコンクールなどへの作品発表活動に参加し、 制作の意義と到達度を自ら実感する機会を設ける。

教科書・参考書

教科書は使用しない。必要な資料等は、授業の中で随時紹介する。